

小型の家電回収 金属を再資源化

県心身障害者コロニー（由利本荘市西目町）の利用者が、不要になったパソコンなどの小型家電を回収し、金属類を取り出して再資源化する事業に励んでいる。施設の担当者は「障害者の社会参加や環境保護につながる取り組み。多くの方に協力してもらい活動を広げたい」としている。

事業は2019年4月に始めた。これまで市役所や病院、福祉施設などから約5千台の寄付を受け、出張回収して細かく解体。金や銀といった希少金属、鉄やアルミを含む部品ごとに分類し、精錬業者に売却してきた。得られた収入は、コロニー利用者の工賃アップなどに反映しているという。

県心身障害者コロニー（由利本荘市西目町）



型家電の回収・再資源化事業に先駆的に取り組む新潟市のNPOを知り、現地研修などを通じてノウハウを習得した。担当するのは、コロニーの30〜60代の男女10人。軽作業などの職業訓練を行う「就労継続支援B型事業」の利用者だ。当初は小野佑二さん(36)と職員野呂誠也さん(30)の2人だけだったが、これまで取り組んでいた土鈴づくりが不振となったことから、ニーズのある再資源化事業にシフトした。

利用者解体、分類し売却

今月16日には、秋田市土崎港にある福祉用具販売・レンタル業「かんきょう」の事務所を出張回収のために訪問。野呂さんや小野さんら4人が作業に当たった。ミリ単位のねじを幾つも外すなどし、約40台のノートパソコンやサーバーの主要部分をその場で手早く解体した。回収に当たり、保存データの消えいがいよう、取り出した記憶装置には工具で傷を付け、読み取りできないようにする作業を徹底。終了後は担当者で直接確認してもらっている。この日は1時間ほど

作業を終了。機器はコロニーに運んで細かく解体し、金属ごとに分類する。同社はコロニーに2年前から依頼しており、今回が3回目。自社で取引先で使わなくなったパソコンを寄付という形で処分でき、メリットは大きいという。同社営業推進部の奈良朗部長(67)は「作業が丁寧。引き続きお願いしたい」と話した。コロニーが回収するのは、PC機器や携帯電話、家庭用ゲーム機など。テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、プリンター、スピーカーなどは対象外。20年度は月平均170台のパソコンを回収・解体してきたが、技術を身に付けた利用者が増えたことなどから、今後は400〜500台を目標にしたいという。

小野さんは「喜んでもらえるのが励みになる。より早く正確にできるよう頑張りたい」と話す。野呂さんは「施設内で多くの時間を過ごす利用者の方々にとって、社会と関わる貴重な機会。さまざまなプラスがある」と語った。回収に関する問い合わせ、申し込みはコロニー（県基板ネットワーク事務局）野呂さん ☎0184・333・452

（令和4年11月12日）

記念品などを含む。申し込み、問い合わせは鳥海山案内人の会（事務局・市観光振興課） ☎0184・24・6349

地域情報

あす

【男鹿市】はつらつ男性教室 25日午前10時〜11時半、市総合体育館。

【井川町】みなくる3周年祭 27日、みなくる。午前10時〜10時半は「音楽と絵本の読み聞かせ会」。11時からは「似顔絵師とらまるによる似顔絵講座」。9〜11時は似顔絵の実演販売。300円から。

【由利本荘市】ヨミキカセ・ワールドワイド 27日午前10時半〜11時半、カダーレ。外国語の絵本の読み聞かせ。

▼おはなしのへや 27日午前10時半〜11時、出羽伝承館。絵本の読み聞かせ。

【にかほ市】元氣百歳館開放 27日午前10時〜午後3時、元氣百歳館。誰でも自由に使用できる。コケの展示、販売あり。同館 ☎0184・38・2375

老人ホームに専用部屋 保護猫、入居者癒やす

との面会がままならない寂しさが、紛れ、「あっという間に時が過ぎる。一日中でも一緒にいたいわ」とほほ笑む。

する専属の「猫ヘルパー」が交代制で常駐。朝から夕方まで開放し、入所者は家族の同意書があれば、1口20分程度利用できます